

令和2年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

北村 貴寿 議員

◇教育行政について

(1) 子どもたちを災害から守るための取り組み

①自然災害時における子どもたちの安全確保の手段として、携帯電話の学校への持ち込みについて県の考えを伺いたい。

(教育長答弁)

携帯電話等の利用につきましては、児童生徒の登下校の安全確保や緊急時の連絡手段として一定の有用性があると考えます。しかしながら、歩きスマホによる交通事故の恐れや、SNSに係るトラブルの増加など、課題も多くあります。

県教育委員会としましては、県立学校における携帯電話の校内持込みは原則禁止としておりますが、地域の状況や生徒の安全面等を考慮して、学校ごとに検討するよう通知しているところです。今後も、各学校の実態に応じて、保護者と十分連携を図りながら、丁寧に対応していく必要があると考えております。

②「学校安全総合支援事業」の取り組みなど、関係機関との連携強化を図りながら、スピード感をもって防災教育を推進する必要があると思うが、このことについて伺いたい。

(教育長答弁)

本事業では、長崎地方气象台、長崎河川国道事務所、県危機管理課等、関係機関と連携した実践的な防災学習に取り組むとともに、学校と保護者・地域が一体となった訓練等を通して、防災意識の向上を図っております。

県教育委員会としましては、本事業の特長的な実践内容等を全市町教育委員会に周知し、各地区独自の取組に向け、普及・啓発を行っているところです。

今後も、本事業の実施を県全体へ積極的に促すとともに、専門機関との更なる連携強化を図りながら、質の高い防災教育を総合的に推進してまいります。